

在宅介護実態調査の集計結果

～第8期介護保険事業計画の策定に向けて～

(単純集計結果)

令和2年5月

<青梅市>

～ 目 次 ～

I 調査の概要	3
1. 調査の実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4
II 調査項目の集計結果	5
1. 基本調査項目（A票）	5
(1) 世帯類型	5
(2) 家族等による介護の頻度	5
(3) 主な介護者の本人との関係	6
(4) 主な介護者の性別	6
(5) 主な介護者の年齢	7
(6) 主な介護者が行っている介護	8
(7) 介護のための離職の有無	9
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	9
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	10
(10) 施設等検討の状況	10
(11) 本人が抱えている傷病	11
(12) 訪問診療の利用の有無	12
(13) 介護保険サービスの利用の有無	12
(14) 介護保険サービス未利用の理由	13
2. 主な介護者様用の調査項目（B票）	14
(1) 主な介護者の勤務形態	14
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	15
(3) 勤労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	16
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	17
(5) 今後の居宅生活継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	18
3. 要介護認定データ	19
(1) 年齢	19
(2) 性別	19
(3) 二次判定結果（要介護度）	20
(4) サービス利用の組み合わせ	20
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	22
(6) 通所系サービスの合計利用回数	22
(7) 短期系サービスの合計利用回数	23

(8) 障害高齢者の日常生活自立度.....	23
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度.....	24
※参考資料 青梅市在宅介護実態調査票	

I 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は第8期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしたいためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な住宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 青梅市在宅介護実態調査	要支援・要介護認定を受けている方で、更新申請・区分変更申請で認定調査を受けた在宅の方（施設入所者を除く）。

3. 調査方法と回収状況

調査方法：聞き取りによるアンケート調査

調査期間：令和元年11月11日（月）～令和2年3月18日（水）

回答件数：139件

4. 調査項目

調査項目
1. 住宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制について
2. 仕事と介護と両立に向けた支援・サービスの提供体制について
3. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備について
4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について
5. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制について
6. サービスの未利用の理由など

5. 調査結果を見る上での注意事項

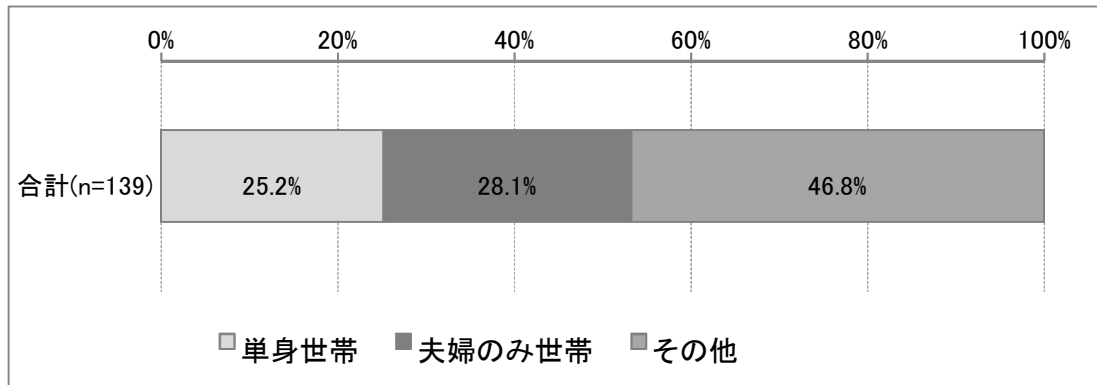
- ・「性別」「年齢」「介護度」「自立度」については、基本情報から項目を追加し、集計した。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

II 調査項目の集計結果（単純集計結果）

1. 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

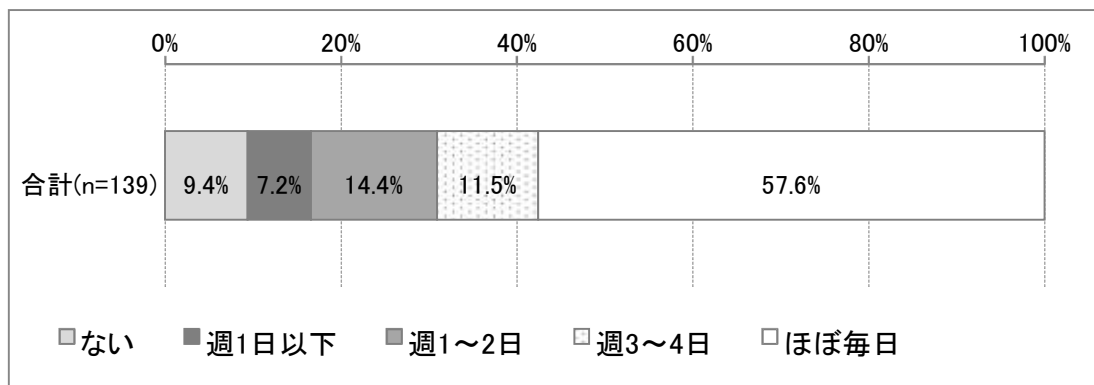
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



- 「夫婦のみ世帯」が28.1%、「単身世帯」が25.2%でした。

(2) 家族等による介護の頻度

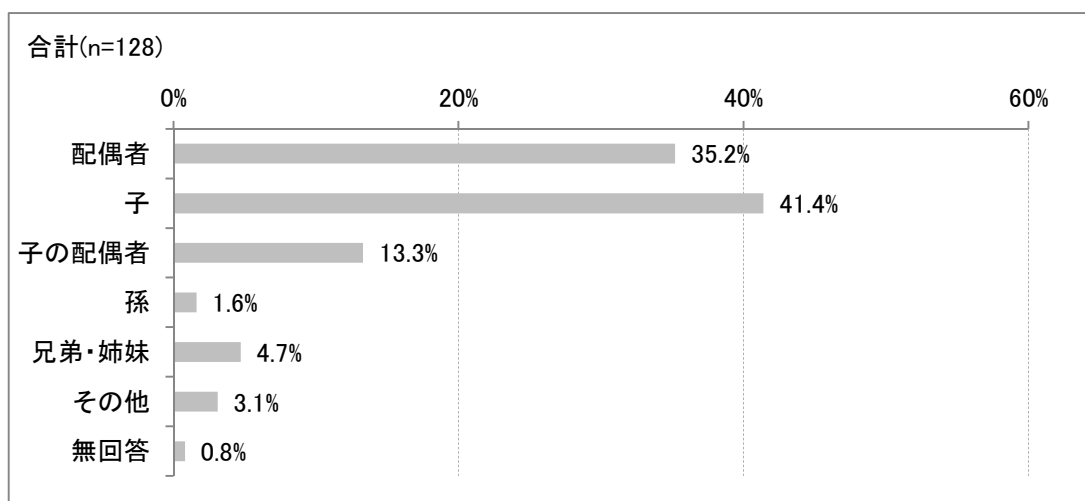
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



- 「ほぼ毎日」が57.6%で最も多く、「週1～2日」が14.4%、「週3～4日」が11.5%、「週1日以下が」が7.2%でした。

(3) 主な介護者の本人との関係

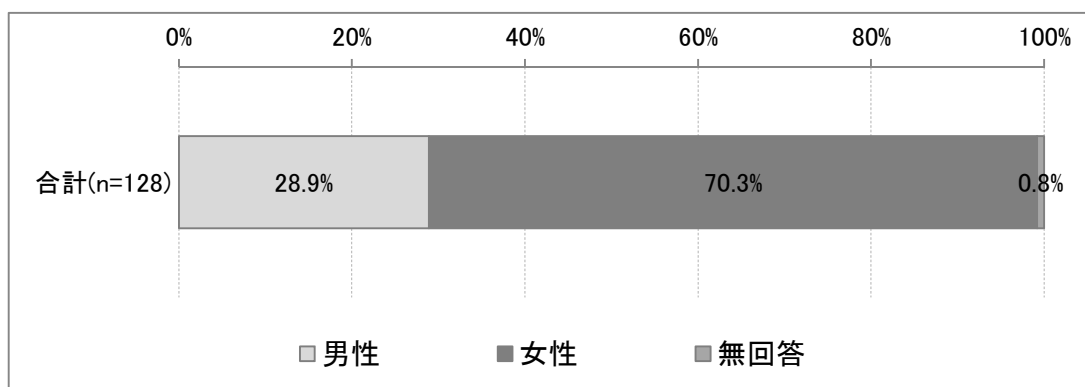
図表 1-3 主な介護者の本人との関係（単数回答）



- 主な介護者は「子」が41.4%で最も多く、「配偶者」が35.2%、「子の配偶者」が13.3%でした。

(4) 主な介護者の性別

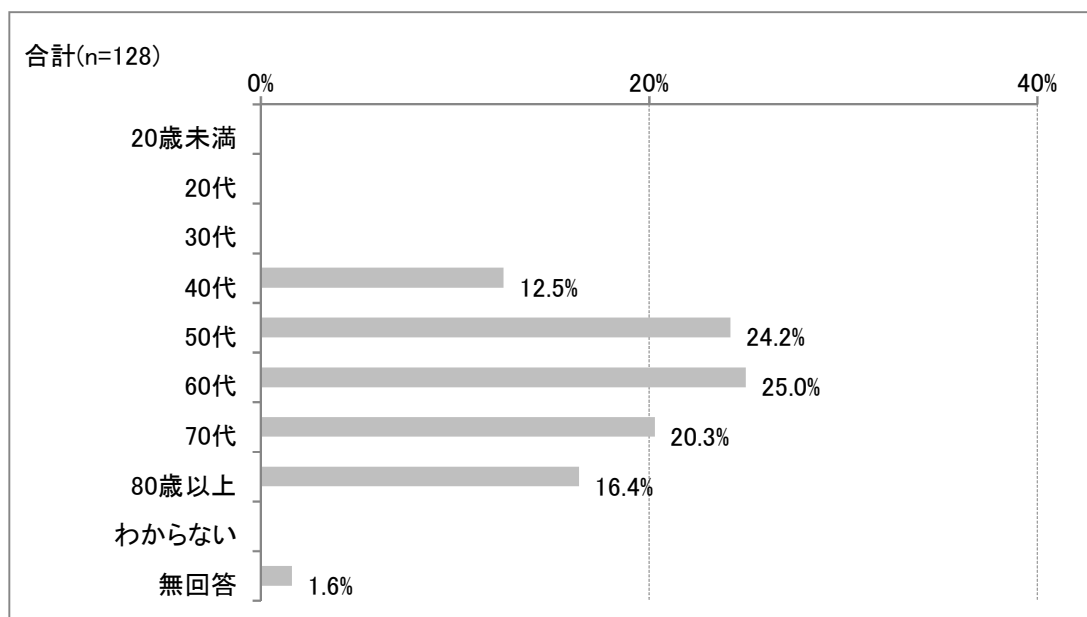
図表 1-4 主な介護者の性別（単数回答）



- 「女性」が70.3%で、「男性」が28.9%でした。

(5) 主な介護者の年齢

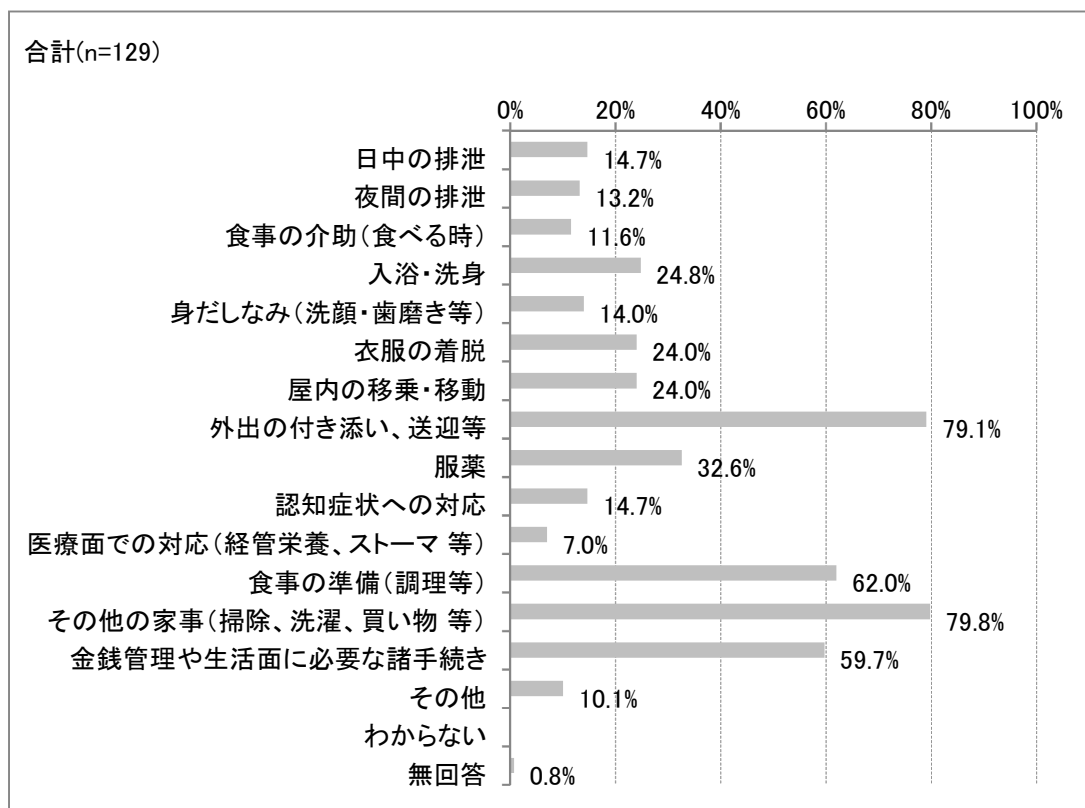
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



- 「60代」が25.0%で最も多く、「50代」が24.2%、「70代」が20.3%、「80歳以上」が16.4%、「40代」が12.5%でした。

(6) 主な介護者が行っている介護

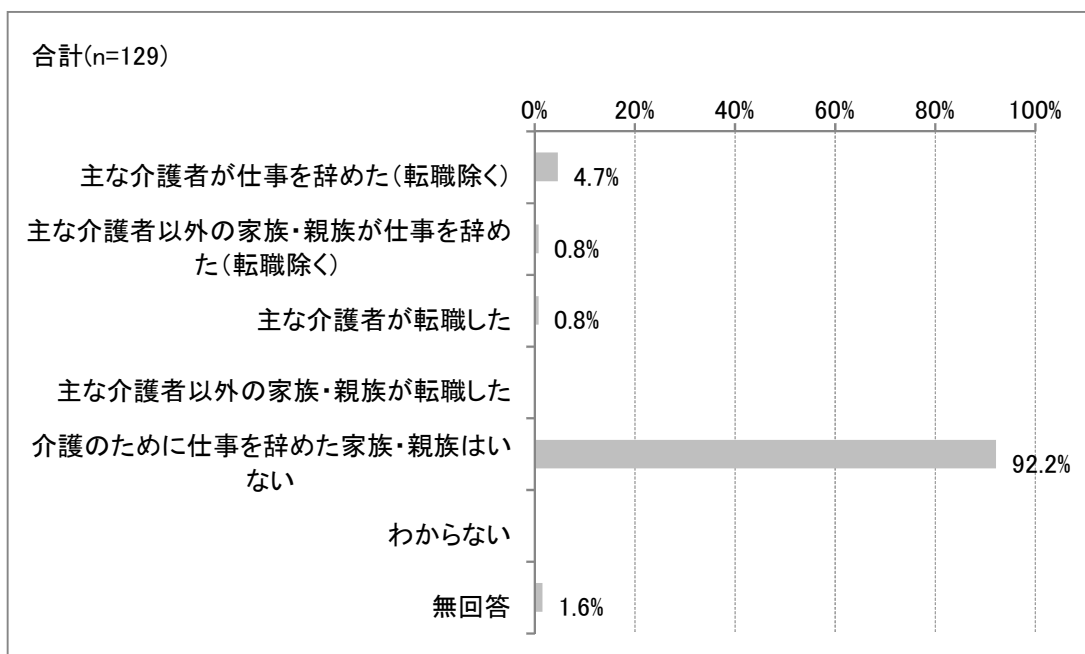
図表 1-6 主な介護者が行っている介護（複数回答）



- 「その他の家事」が79.8%で最も多く、「外出の付き添い、送迎等」が79.1%、「食事の準備(調理等)」が62.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が59.7%でした。

(7) 介護のための離職の有無

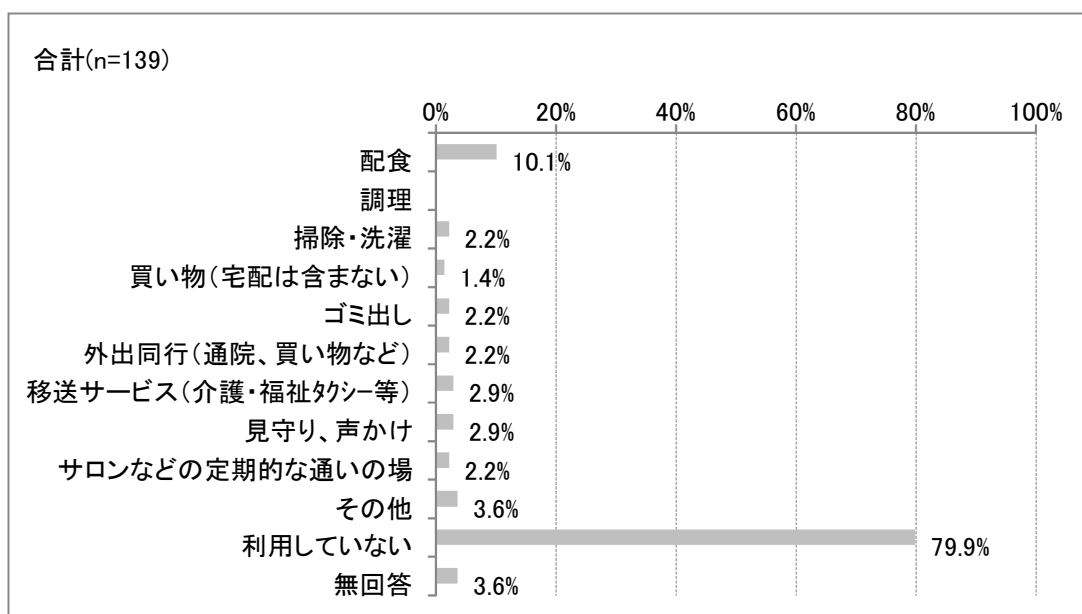
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多く 92.2%でした。

(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

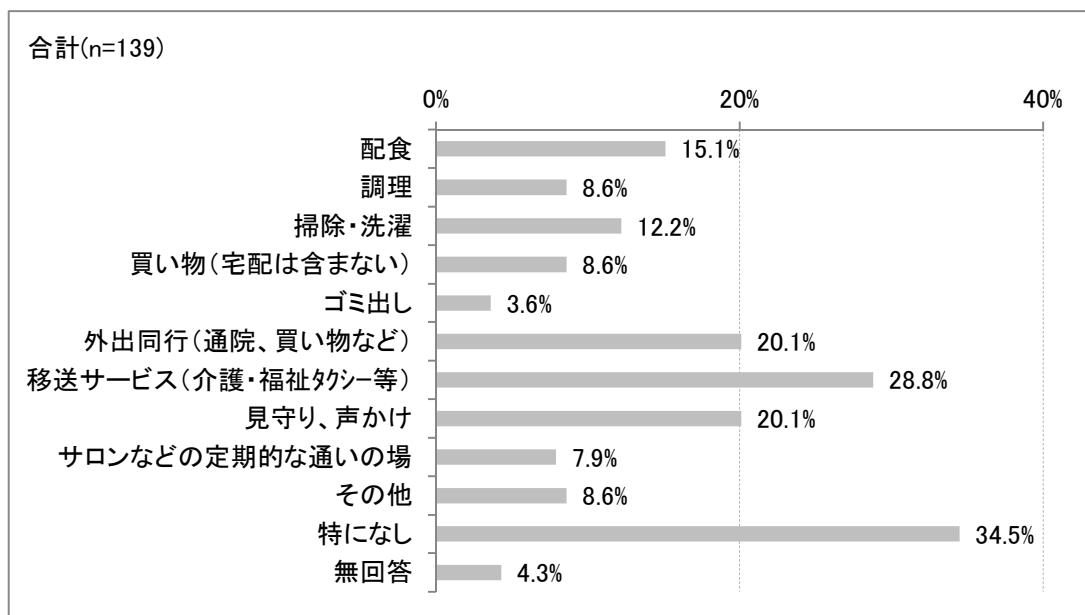
図表 1-8 保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



- 「利用していない」が最も多く 79.9%でした。

(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

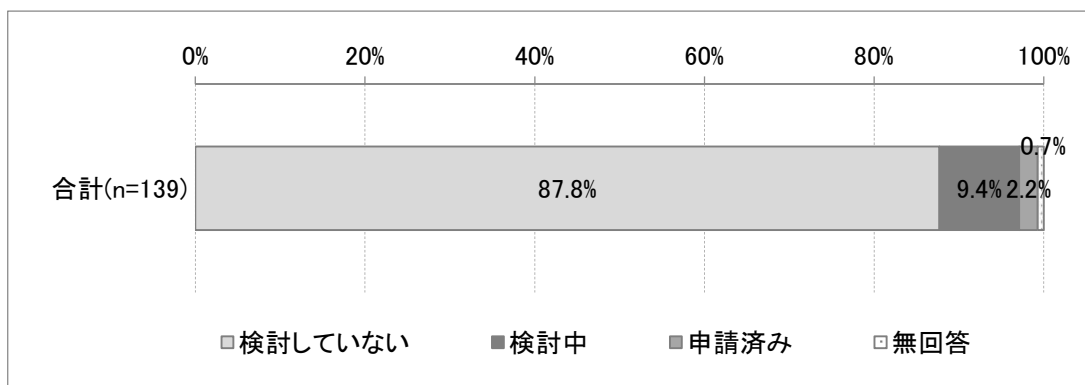
図表 1-9 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



- 「特になし」が34.5%、続いて「移送サービス」が28.8%、「外出同行」、「見守り、声かけ」が20.1%でした。

(10) 施設等検討の状況

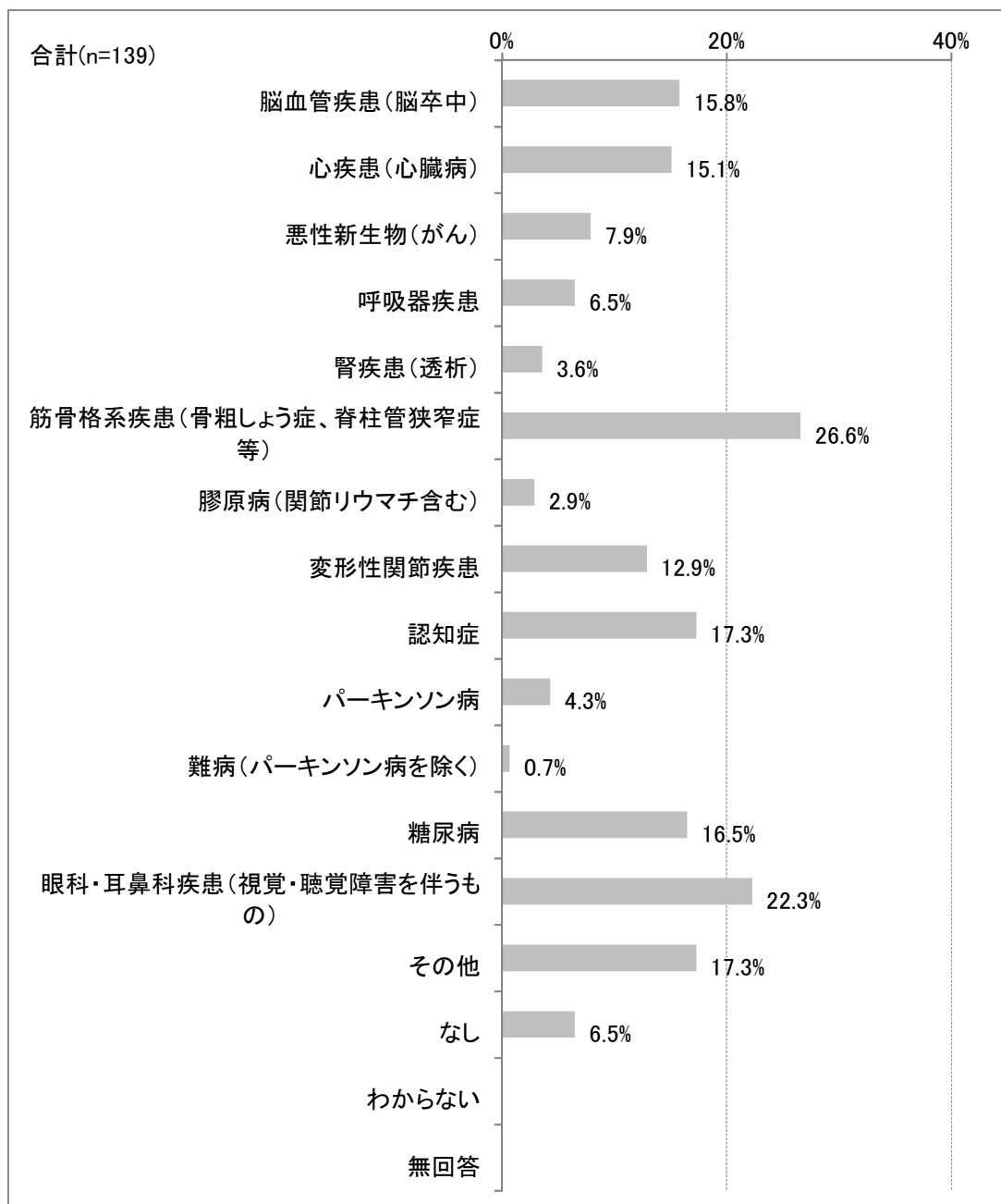
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



- 施設検討の状況は「検討していない」が87.8%、「検討中」が9.4%、「申請済み」が2.2%でした。

(11) 本人が抱えている傷病

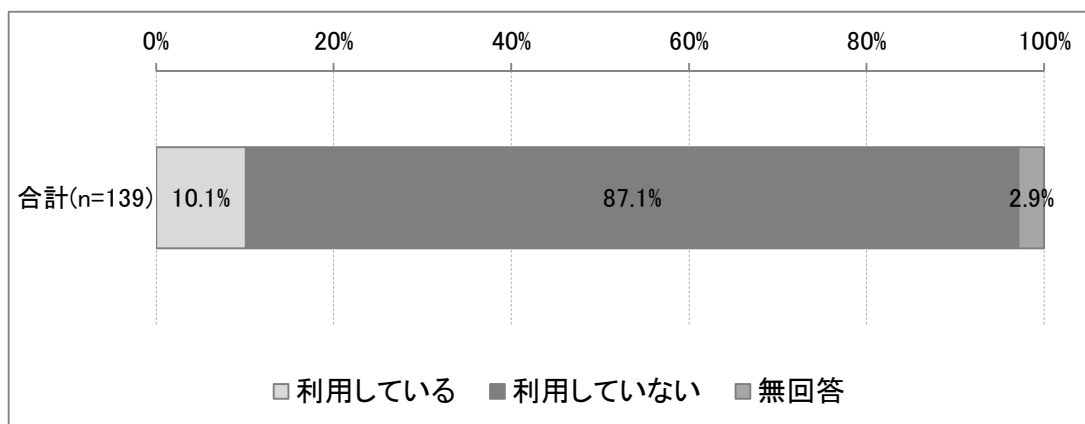
図表 1-11 本人が抱えている傷病（複数回答）



- 「筋骨格系疾患」が26.6%で最も多く、「眼科・耳鼻科疾患」が22.3%、「認知症」が17.3%でした。

(12) 訪問診療の利用の有無

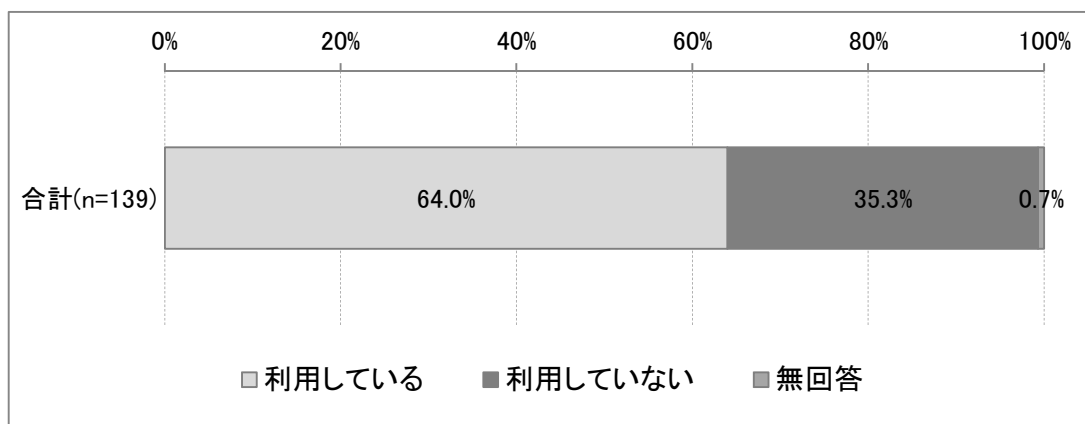
図表 1-12 訪問診療の利用の有無（単数回答）



○ 「利用している」が10.1%、「利用していない」が87.1%でした。

(13) 介護保険サービスの利用の有無（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）

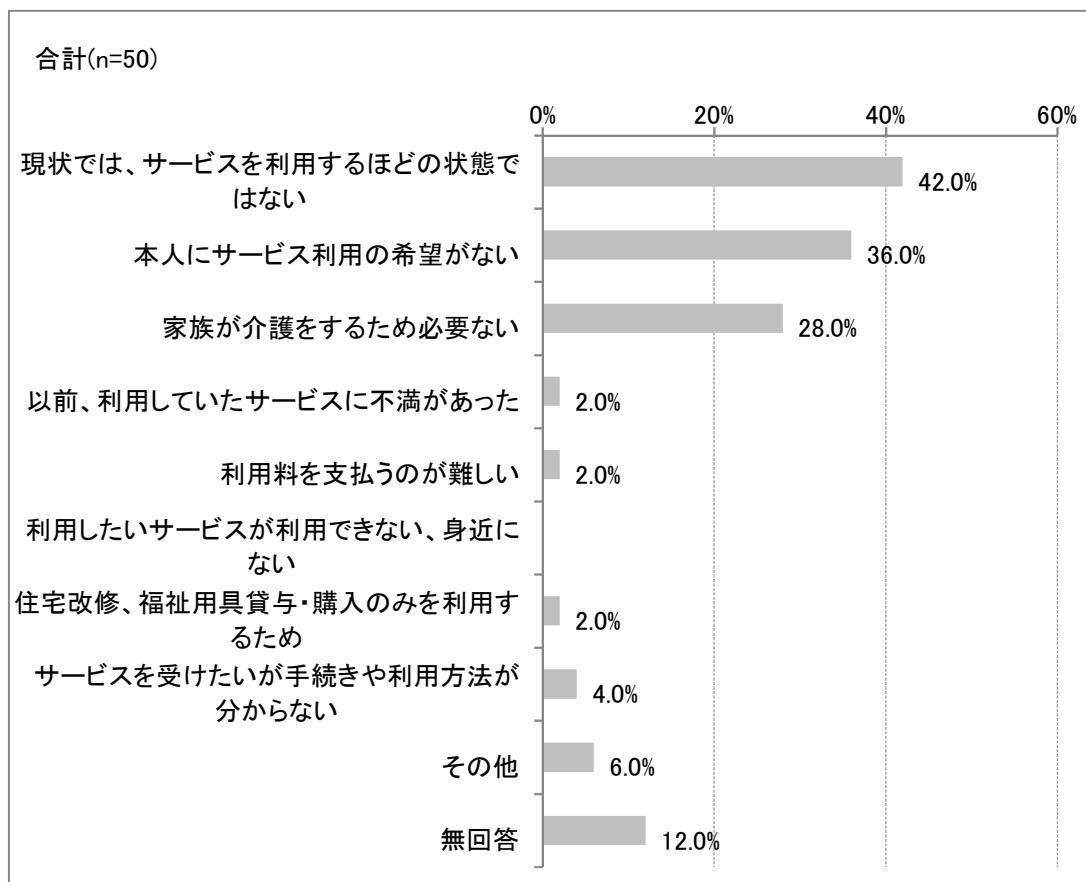
図表 1-13 介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



○ 「利用している」が64.0%、「利用していない」が35.3%でした。

(14) 介護保険サービス未利用の理由

図表 1-14 介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

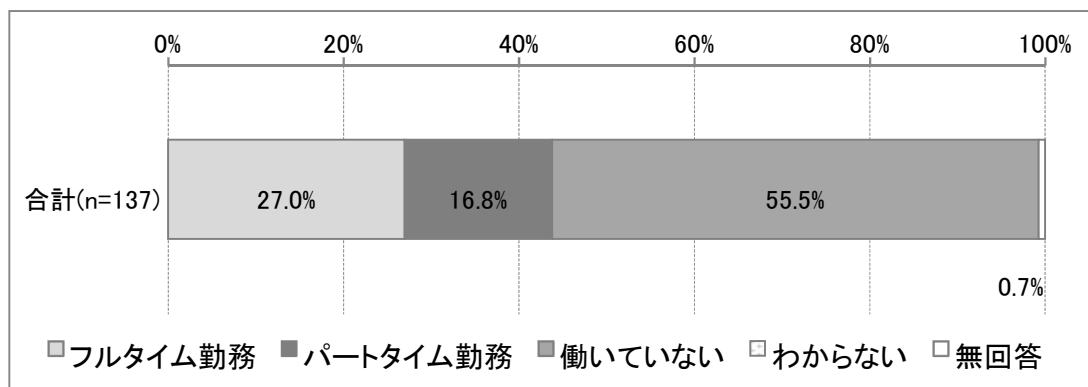


- 「現状では利用するほどの状態ではない」が42.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が36.0%、「家族が介護をするため必要ない」が28.0%でした。

2. 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）

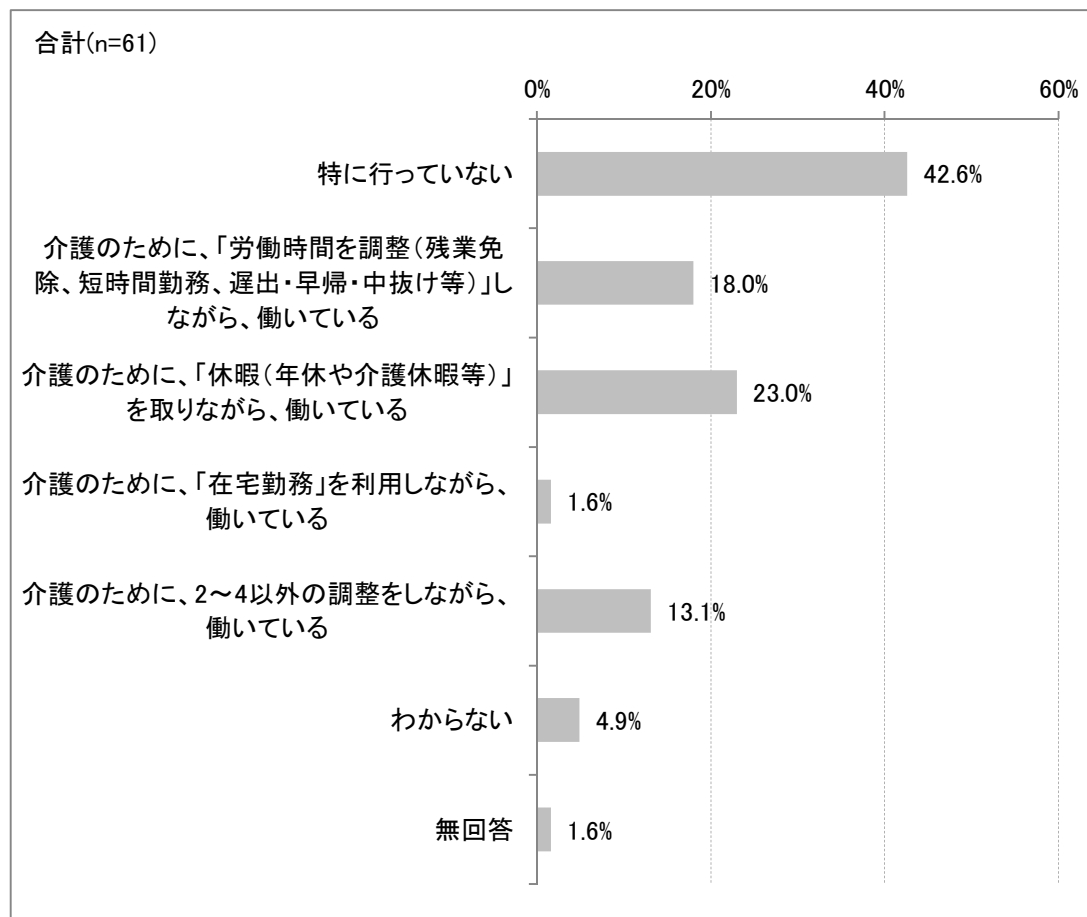


- 「フルタイム勤務」が27.0%、「パートタイム勤務」が16.8%、「働いていない」が55.5%でした。

(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

※ (1) で「フルタイムあるいはパートタイムで働いている」と回答した方が対象。

図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）

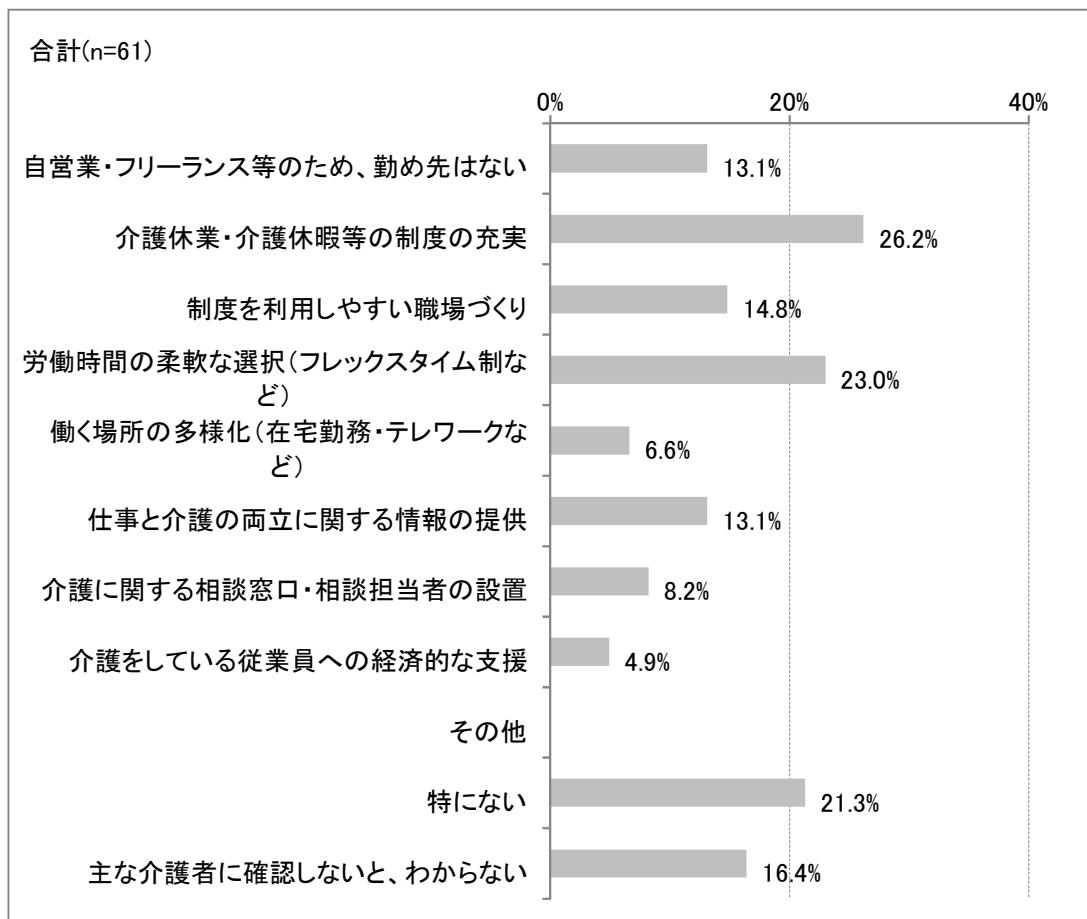


- 「特に行っていない」が42.6%、「休暇を取りながら、働いている」が23.0%、「労働時間を調整（残業免除等）」が18.0%でした。

(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

※ (1) で「フルタイムあるいはパートタイムで働いている」と回答した方が対象。

図表 2-3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）

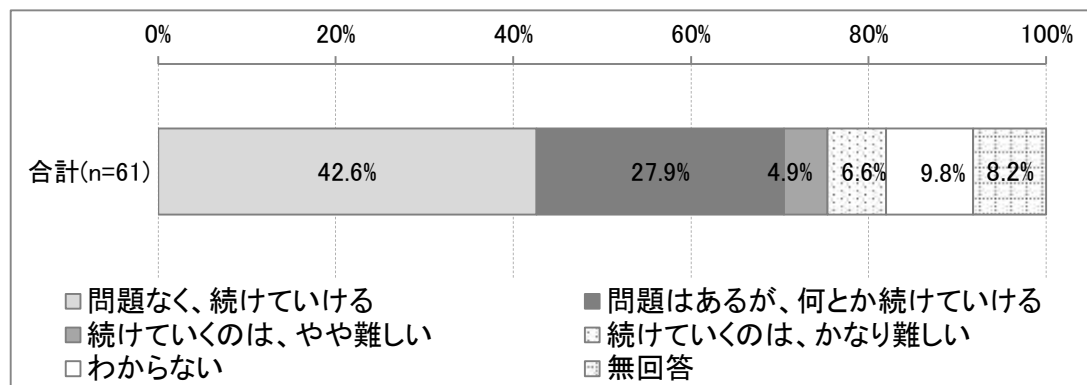


- 「介護休業等の制度の充実」が 26.2%、「労働時間の柔軟な選択」が 23.0%、「特になし」が 21.3%でした。

(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

※ (1) で「フルタイムあるいはパートタイムで働いている」と回答した方が対象。

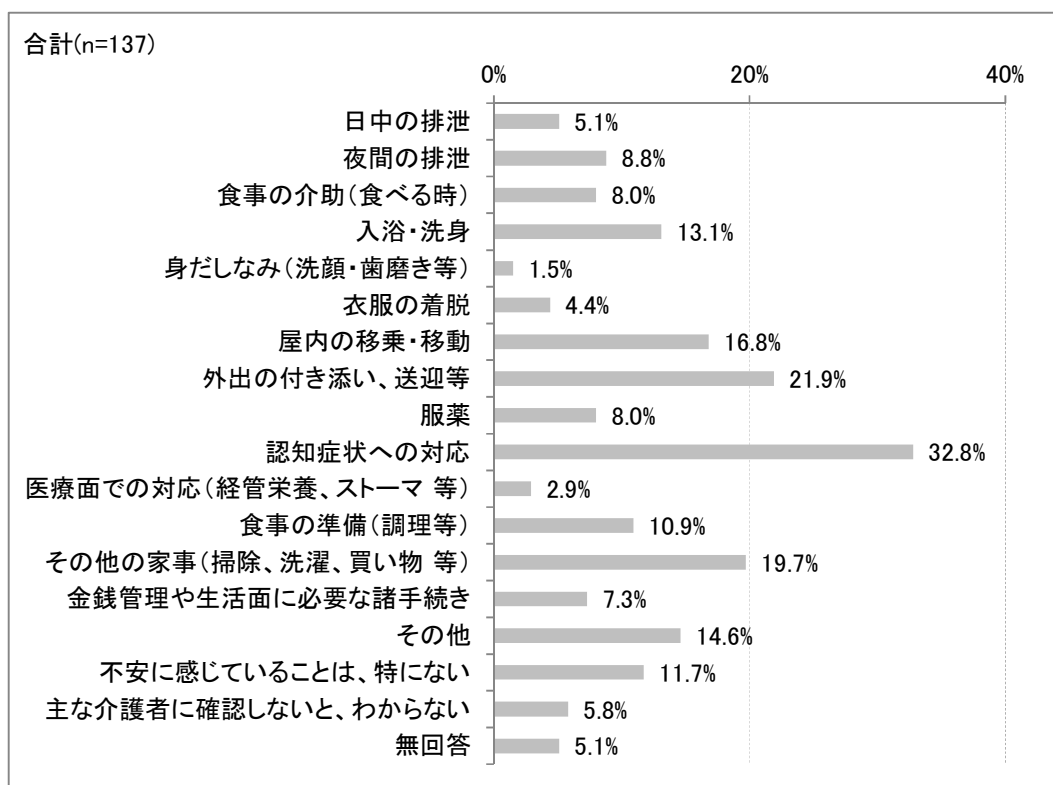
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



- 「問題なく、続けていける」が42.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」が27.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.6%、「続けていくのは、やや難しい」が4.9%でした。

(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

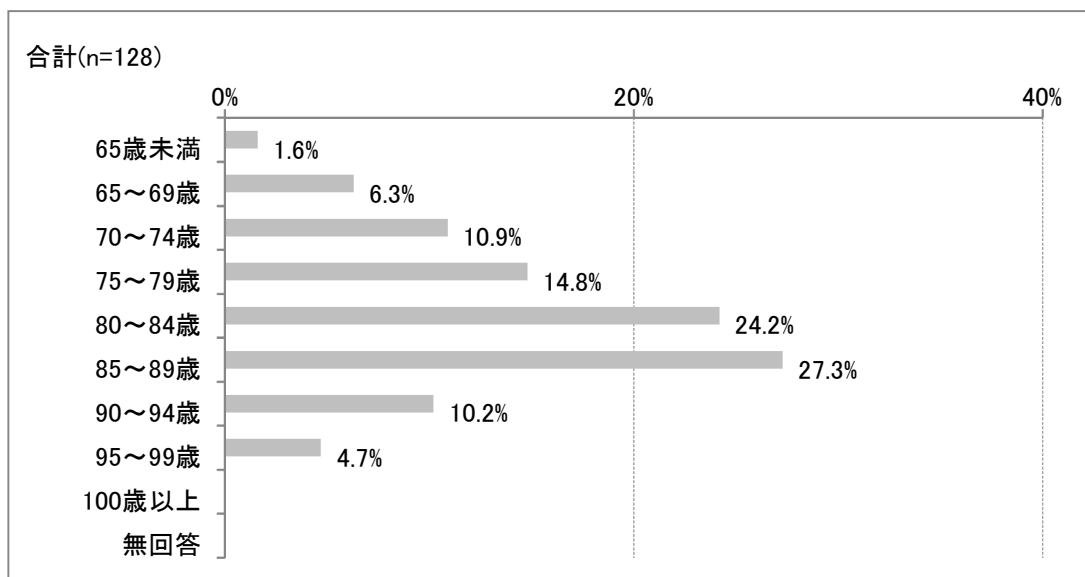


- 「認知症状への対応」が 32.8%、「外出の付き添い、送迎等」が 21.9%、「その他の家事」が 19.7%でした。

3. 要介護認定データ

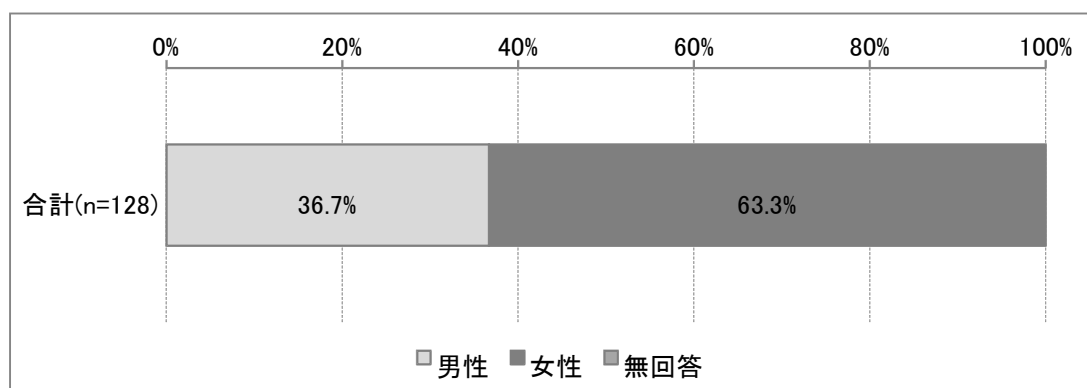
(1) 年齢

図表 3-1 年齢



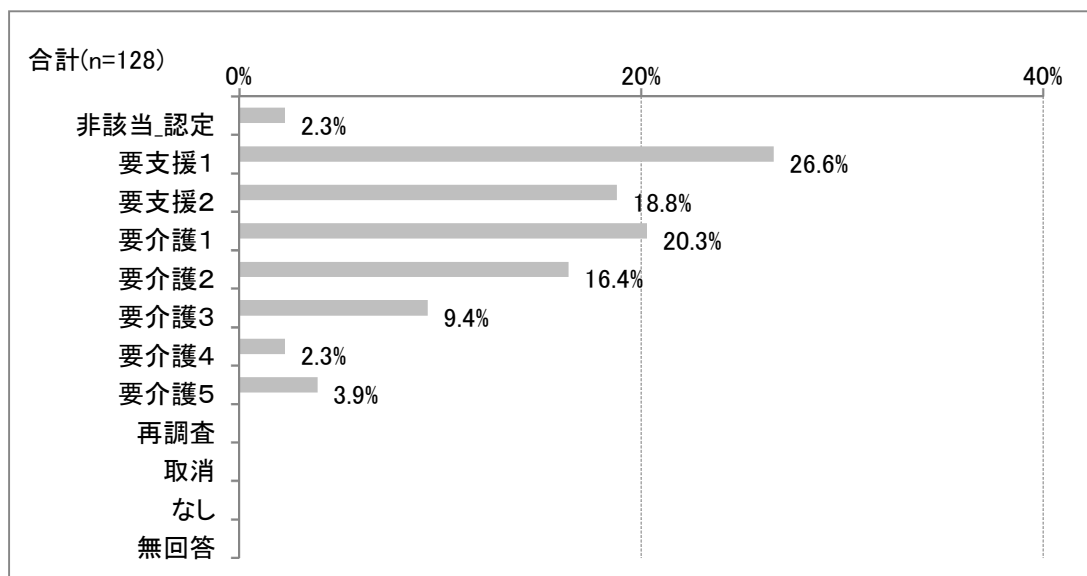
(2) 性別

図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

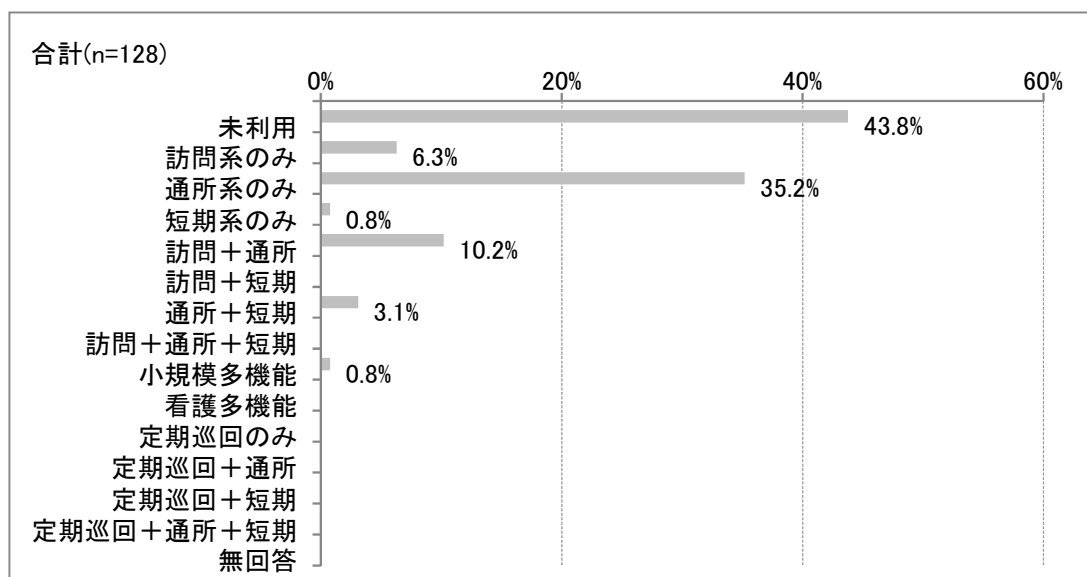
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

※調査対象者の認定調査項目のうち、クロス集計分析に使用したデータの内訳である。

図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



※図表 3-4 のサービス利用の分析に用いた用語の定義は以下のとおりである。

・ サービス利用の分析に用いた用語の定義

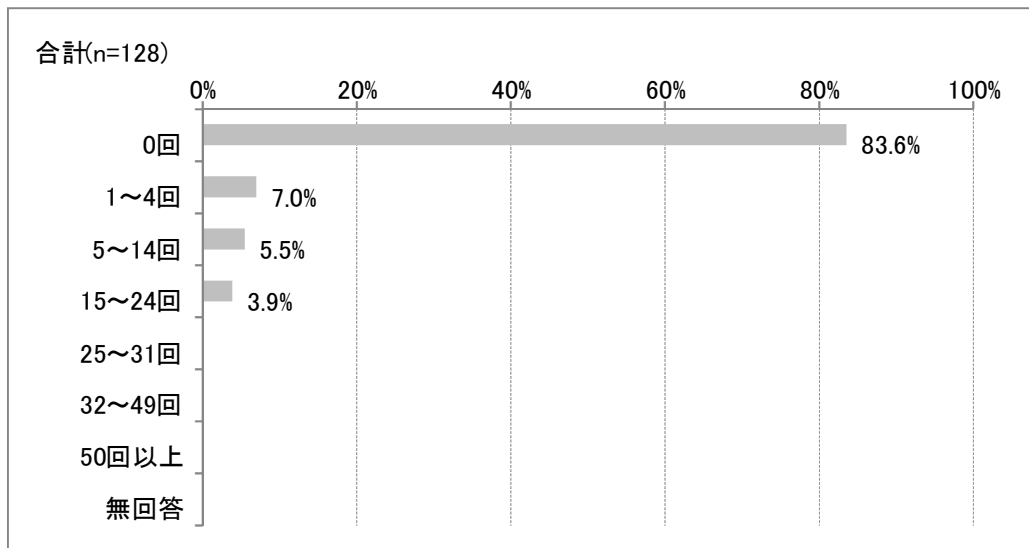
用語	定義
未利用	「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計
訪問系	(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系	(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系	(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能 (介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能 看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

・ サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

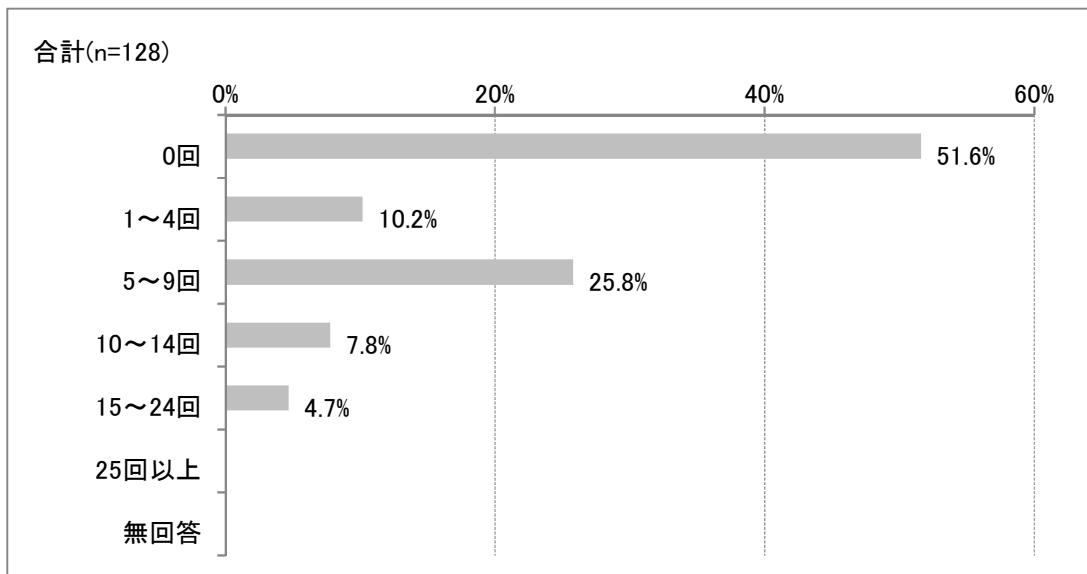
(5) 訪問系サービスの合計利用回数

図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



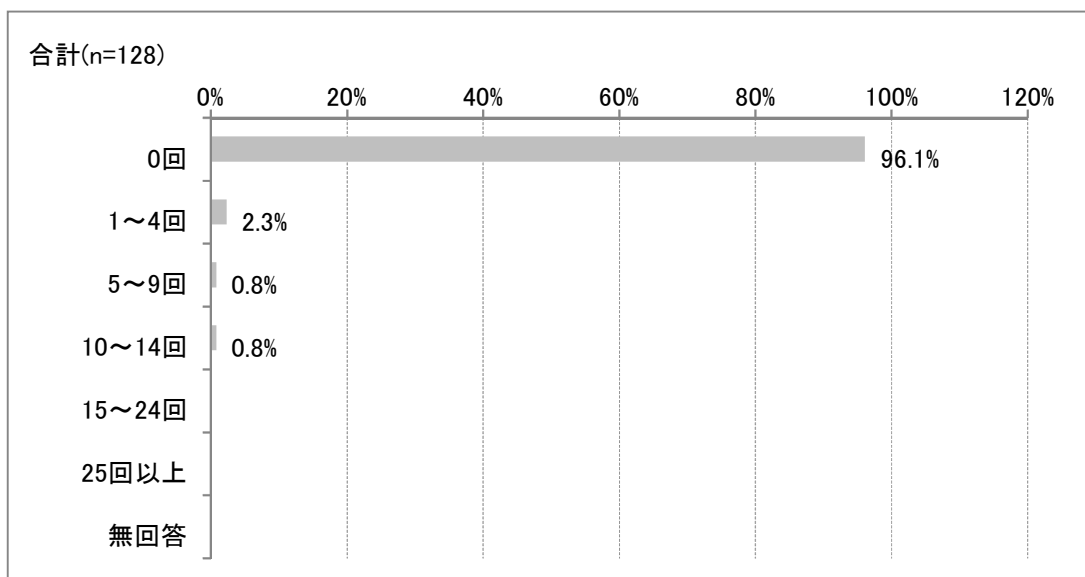
(6) 通所系サービスの合計利用回数

図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



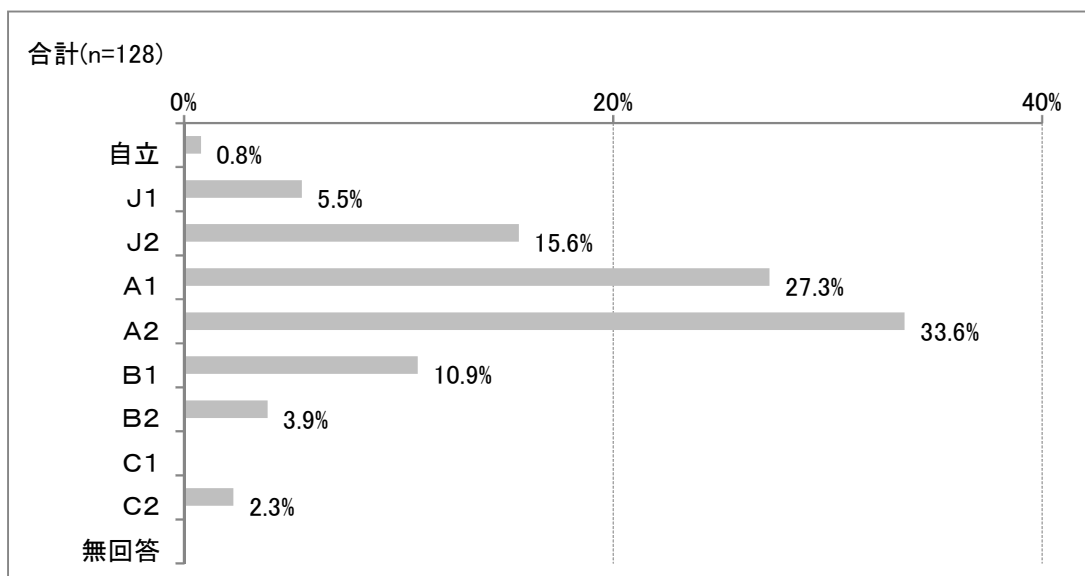
(7) 短期系サービスの合計利用回数

図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



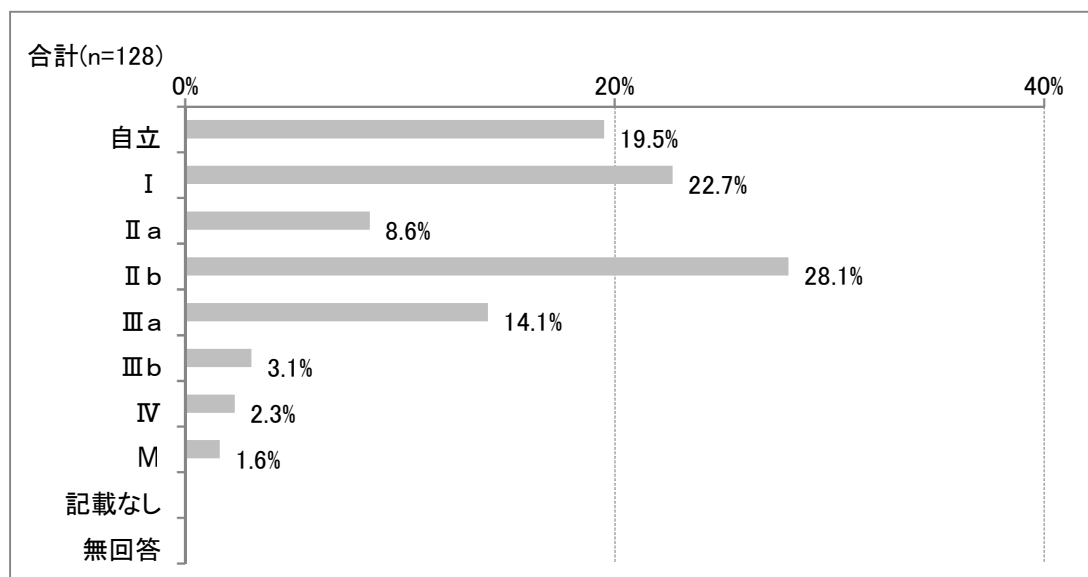
(8) 障害高齢者の日常生活自立度

図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



【参考】

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

資料：「認知症の日常生活自立度判定基準」の活用について

(平成18年4月3日老発第0403003号) 厚生省老人保健福祉局通知より引用